



第32回 全日本大学ホッケー王座決定戦 1日目

開催日時 6 月 22 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム Aコート 天候 晴れ

第1試合	東京農業大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	0	慶應義塾大学
9:30		SO	$\begin{pmatrix} 3 & - 0 \end{pmatrix}$		
第2試合	早稲田大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 2 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$	3	聖泉大学
11:20					
第3試合	朝日大学	3	$\begin{pmatrix} 2 & - 0 \\ 1 & - 1 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
13:10					
第4試合	北海道大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 7 \\ 0 & - 7 \end{pmatrix}$	14	明治大学
15:00					

開催日時 6 月 22 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム Bコート 天候 晴れ

第1試合	天理大学	13	$\begin{pmatrix} 8 & - 0 \\ 5 & - 0 \end{pmatrix}$	0	北海道大学
9:30					
第2試合	中京大学	2	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 2 & - 2 \end{pmatrix}$	3	関西学院大学
11:20					
第3試合	東京農業大学	2	$\begin{pmatrix} 1 & - 1 \\ 1 & - 0 \end{pmatrix}$	1	聖泉大学
13:10					
第4試合	新潟大学	2	$\begin{pmatrix} 2 & - 6 \\ 0 & - 4 \end{pmatrix}$	10	慶應義塾大学
15:00					

開催日時 6 月 22 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

女子	西日本	4	$\begin{pmatrix} 4 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	0	東日本
16:50					
男子	西日本	1	$\begin{pmatrix} 1 & - 1 \\ 0 & - 2 \end{pmatrix}$	3	東日本
16:50					

【各試合の結果・詳細】 Aコート

第1試合

東京農業大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 慶應義塾大学
SO 3 - 0

<得点>

東農大 :
慶應大 :

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより、前半戦が開始。13分東農大、14分慶應大が、互いにシュートチャンスを作るが得点できない。28分慶應大がPCを取得。#5阿曾沼がシュートを放つが得点には至らないまま0-0で前半戦を折り返した。

後半に入っても前半同様、慶應大のペースで試合が進むも決定的なチャンスのないまま試合が進行する。東農大は、43分に#6島村がドリブルで持ち込みチャンスを作るがGK#1斎木の好セーブに阻まれる。その後も両チームとも果敢に攻めるが得点に至らない。そのまま試合は終了し、SO戦に突入した。SO戦は東農大のGK#1柏木好セーブにより慶應大はなかなか決めることができない。3-1で東農大が勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	刈谷 和代	アンパイア	山本 誠
リザーブ	信井 康博		安本 忠義
ジャッジ	妹背 修治		

第2試合

早稲田大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 3 聖泉大学

<得点>

早稲田 :
聖泉 : 20分 後藤、35分 林、56分 石丸

<戦評>

早稲田大学のセンターパスにより前半戦が開始。5分聖泉大学はPCを取得。#9林が右サイドからシュートを放つが早稲田#1堀部の好セーブに阻まれる。聖泉は20分、早稲田DFからこぼれたボールを#22後藤が左サイドで受け、プッシュシュートを決める。32分早稲田も負けじと攻め込みPCを取得するが得点には繋がらない。35分聖泉は、#21岩本からパスを#9林が受けシュートを決める。2-0で聖泉リードのまま前半戦が終了した。

後半に入り、53分早稲田はドリブルでサークルインしプッシュシュートを放つがDFに止められる。56分聖泉#13塚原が#10土井からのボールをドリブルで攻め込みPCを取得、#10土井が出したパスを#24石丸がタッチし得点する。その後両チームともにPCを取得するも得点には至らず、そのまま試合は終了。3-0で聖泉が勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	壽山 由樹
リザーブ	高橋 英行		石橋 徹也
ジャッジ	武部 直美		

第3試合

朝日大学 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 東海学院大学

<得点>

朝日大 : 34分 片平、35分 福山、62分 武田

東海学院 : 67分 瀬川

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより試合が開始。13分、東海がPCを取得するも、#2大橋の好セーブにより得点することが出来ない。対する朝日は21分、#15佐橋がドリブルで持ち込みリバースヒットを放つがGK #12千原の好セーブにより得点を許さない。均衡したゲームが続く中、34分、朝日大学#8片平が左サイドからスピードあるドリブルでサークルに入り、プッシュシュートをゴール左下に決め、待望の先制点を挙げる。このまま前半終了かと思われた35分、朝日がPCを取得。#17福山が豪快にヒットシュートを決め2-0で折り返す。

後半37分、得点が欲しい東海はPCを取得。#9内田がヒットシュートを放つもゴールをとらえられない。朝日も42分、46分、47分に立て続けにシュートを打つも東海の体を張ったDFに阻まれ追加点をとれない。その後も互いにPCを獲得するも決めきることが出来ず、一進一退の攻防が続く。62分、朝日がPCを獲得。#19がフリックシュートを決め3-0と点差を広げる。67分、東海学院がPCを獲得。#21瀬川がタッチシュートで得点を挙げるもここで試合終了。3-1で朝日が勝利を収め明日の準々決勝へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	苅谷 和代	アンパイア	戸塚 洋介
リザーブ	壽山 由樹		渡邊 道彦
ジャッジ	妹背 修治		

第4試合

北海道大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 7 \\ 0 & - & 7 \end{pmatrix}$ 14 明治大学

<得点>

北海道 :

明治 : 10分 松尾、17分 市橋、21分 中道、27分 櫻井、30分 山田、33分 三島、34分 山田
38分 岩井、39分 柏木、58分 佐々木、63分 市橋、65分 岡崎、67分 山本、69分 山本

<戦評>

北海道大学のセンターパスにより試合が開始。序盤から明治大学のペースで試合が進む。3分、4分明治がPCを取得。北海道DFとGKの好セーブによりに得点できない。10分、明治#9松尾がリバースヒットにより先制点を挙げ、試合が動き始める。その後、明治は#22岩井を中心に攻撃を組み立て、得点チャンスを作り、17分、22分にFGで得点を挙げる。対する北海道も果敢に攻め24分には相手チームのDFからボールを奪い#12松川がシュートを放つも枠をとらえられない。その後も明治の勢いは止まらず、27分、30分、33分、34分に続けて得点を挙げ、0-7の明治リードで前半を折り返した。

後半に入っても明治の勢いは止まらず、38分には#22岩井が、続く39分には#14柏木が決め、0-9とさらに点差を広げる。北海道も粘り強い守備から攻撃に繋げようとするも得点には至らず、0-14で明治が勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	信井 康博
リザーブ	渡邊 道彦		高橋 英行
ジャッジ	武部 直美		

【各試合の結果・詳細】 Bコート

第1試合

天理大学 13 $\begin{pmatrix} 8 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 北海道大学

<得点>

天理 : 7分 打谷、9分 笠原、14分 牛尾、16分 高木、18分 高木、21分 伊藤、31分 打谷、35分 39分 笠原、40分 早戸沙、42分 田村、54分 早戸沙、67分 笠原

北海道 :

<戦評>

北海道大学のセンターパスにより、前半戦が開始。立ち上がり、天理大学が立て続けにPCを取得するも、得点には至らない。6分、天理#9笠原がドリブルでサークルに切り込み、こぼれ球を#7打谷がゴールに押し込み先制する。9分、天理#7打谷のシュートがこぼれ、それを#9笠原が押し込み追加点を挙げた。14分天理#14伊藤のパスを、#10牛尾が決め、3-0とリードを広げる。更に17分天理#10牛尾がタッチシュート。18分には北海道のクリアミス为天理#5高木がヒットシュートが決める。その後も天理が得点を重ね、前半を8-0で折り返した。

後半に入っても天理大学のペースで試合は進む。39分天理#9笠原がプッシュシュートを決める。40分PCから#3早戸沙がヒットシュート、42分北海道のミスによるオウンゴールで追加した。北海道は#4関谷を中心に攻めこむが天理の固い守りを突破することができない、53分にも天理は#5高木からのパスを#3早戸沙がヒットシュートで追加点。67分天理#9笠原がリバースシュートを決めて13-0となり、試合はそのまま終了。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	内田 太
リザーブ	戸塚 洋介		重森 誠
ジャッジ	柴田 稔		

第2試合

中京大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 2 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 関西学院大学

<得点>

中京 : 45分 城光寺、58分 奥村
関学大 : 20分 阿部、65分 佐野、70分 佐野

<戦評>

関西学院大学のセンターパスによって前半戦が開始。5分中京大学はPSを取得したが、関西学院のGK#12馬場のファインセーブにより、得点には至らなかった。試合が動いたのは18分、関西学院#3和田が打った球がこぼれ、それを#4阿部が押し込み先制する。そのまま試合は進み1-0関西学院リードで前半戦終了。

後半に入り47分中京はPCを取得、#9廣瀬が打ち込み、#8城光寺がタッチシュートで決め、1-1とする。55分にも中京はPCを取得。#3奥村がヒットで打ち込み2-1と逆転した。65分関西学院はPCを取得。#6佐野がヒットで決め同点に追いついた。終了間際70分に関西学院はPCを取得し、#6佐野がヒットで決め3-2で逆転勝利し、明日の準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	山田 恵美
リザーブ	児玉 茂樹		我妻 順子
ジャッジ	下島 多美子		

第3試合

東京農業大学 2 $\left(\begin{array}{c} 1 - 1 \\ 1 - 0 \end{array} \right)$ 1 聖泉大学

<得点>

東農大 : 25分 大田、56分 五島
 聖泉 : 7分 齋藤

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより、前半戦が開始。5分聖泉大学がPCを取得。東農大のDFに阻まれ、得点できない。7分再び聖泉がPCを取得。#23鈴木がプッシュシュートを決め0-1とした。22分東農大はPCを取得。聖泉のGK#1大西のファインセーブにより得点できない。25分東農大がPSを取得。#1大田が決め、1-1とした。33分東農大がPCを取るも得点には至らず前半戦を1-1で折り返した。

聖泉のセンターパスにより、後半戦が開始。44分聖泉がPCを取得。東農大のDFに阻まれ、得点には至らない。46分再び聖泉がPCを取るが決まらない。55分東農大がPCを取得。相手のDFを崩し#9五島がゴールに押し込み2-1とした。63分東農大がPCを取得。相手の守りに阻まれ得点できない。そのまま試合は終了し2-1で東農大が勝利した。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	元宗 宏寿
リザーブ	我妻 順子		木下 英貴
ジャッジ	柴田 稔		

第4試合

新潟大学 2 $\left(\begin{array}{c} 2 - 6 \\ 0 - 4 \end{array} \right)$ 10 慶應義塾大学

<得点>

新潟 : 12分 石橋、17分 笹川
 慶應大 : 3分 OG、9分 岡田、15分 岡田、25分 田中、32分 細井、33分 岡田
 45分 岡田、58分 中井、63分 渡辺、66分 遠藤

<戦評>

慶應義塾大学のセンターパスにより試合開始。3分、新潟大学のOWNゴールにより慶應が先制する。勢いに乗った慶應は9分にPCを取得。#25岡田が鮮やかなフリックシュートを決め追加点を挙げる。対する新潟も粘り強いDFからカウンターで#5栗山がサークルに持ち込むと、折り返しを#20石橋が押し込み2-1とする。しかし、慶應は得意のスピードある攻撃からPCを取得。#25岡田のフリックシュートが決まり3-1と点差を広げる。新潟もカウンターから#18笹川が1点を返すも、慶應のスピードある攻撃を封じることが出来ず、慶應が3点を追加し2-6で前半を終える。

後半に入り、46分慶應がPCを取得、フリックシュートを決める。その後も慶應は攻撃の手を緩めない。新潟は粘り強いDFを見せるが、試合は終始慶應ペースで進み10-2で慶應が勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	児玉 茂樹
リザーブ	元宗 宏寿		安本 忠義
ジャッジ	下島 多美子		

【各試合の結果・詳細】

<女子>

西日本 4 $\begin{pmatrix} 4 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$ 0 東日本

<得点>

西日本 : 5分 稲本、6分 山下、9分 藪内、34分 OG

東日本 :

<戦評>

西日本のセンターパスにより試合開始。5分西日本#10稲元(同志社大学)がリバーシットで決めて先制点を取る。続く6分#5山下(同志社大学)、9分#11藪内(関西大学)が得点を挙げ、立ち上がり3-0と大きく差をつける。その後も西日本の激しい攻めに対し、東日本が守りを固める展開で試合が進む。そのまま前半が終了すると思われた34分、オウンゴールで得点が決まり、4-0で西日本リードで前半を折り返した。

後半に入り、前半同様に西日本が優勢に試合を運ぶ。対する東日本も負けじと攻め、PCやシュートチャンスを作り、一進一退の攻防を繰り広げる。両チームともにチャンスを活かせず、得点のないまま試合が終了し、4-0で西日本が勝利した。対戦成績はこれで西日本の13勝2分5敗にした。

テクニカルオフィサー	苅谷 和代	アンパイア	山田 恵美
リザーブ	壽山 由樹		我妻 順子
ジャッジ	武部 直美		

<男子>

西日本 1 $\begin{pmatrix} 1 & - 1 \\ 0 & - 2 \end{pmatrix}$ 3 東日本

<得点>

西日本 : 31分 山田

東日本 : 15分 中川、52分 篠宮、69分 飯島

<戦評>

東日本のセンターパスにより試合開始。立ち上がり日本は東日本陣内に攻め込み、PCを取得するも、東日本の固いDFに阻まれ、得点を挙げる事ができない。試合が動いたのは16分、西日本のクリアミスで東日本#16中川(防衛大学校)が冷静にゴールに押し込み先制点を挙げる。1点を追う西日本は#10山田(同志社大学)がドリブルでサークルに進入し、そのままGKをかわしゴールに押し込み1-1とした。その後も一進一退の攻防が続き1-1のまま前半戦を終了。

後半立ち上がり東日本は西日本陣内に攻め込むも西日本の固いDFに阻まれ得点を挙げる事ができない。激しい攻防が続くが両チーム追加点を挙げられない。51分東日本がPCのチャンスを取得、#11篠宮(学習院大学)がドラックフリックを左上に豪快に決め、追加点を挙げる。試合終了間際、東日本は左からドリブルでまわり込み折り返したボールを#20飯島(一橋大学)が決め3-1とした。そのまま試合は終了し東日本が勝利した。対戦成績はこれで東日本は10勝4分18敗にした。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	内田 太
リザーブ	木下 英貴		石橋 徹也
ジャッジ	柴田 稔		